



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月27日

上場会社名 タツタ電線株式会社

上場取引所 東

コード番号 5809 URL <https://www.tatsuta.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 宏也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経理財務部長 (氏名) 今井 雅文

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 2022年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	14,732	3.2	327	49.4	437	38.9	323	38.6
2022年3月期第1四半期	14,276	6.8	648	6.5	716	1.8	526	1.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 18百万円 (105.1%) 2022年3月期第1四半期 361百万円 (64.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	5.23	
2022年3月期第1四半期	8.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	57,724	47,595	82.5	770.38
2022年3月期	58,654	48,169	82.1	779.68

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 47,595百万円 2022年3月期 48,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		9.00		9.00	18.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		9.00		9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,400	9.4	1,300	23.7	1,400	23.5	1,100	17.6	17.80
通期	67,600	12.9	3,200	10.9	3,350	7.6	2,500	7.3	40.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	70,156,394 株	2022年3月期	70,156,394 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	8,375,147 株	2022年3月期	8,375,147 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	61,781,247 株	2022年3月期1Q	61,781,931 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和され、企業収益、設備投資、個人消費、住宅建設等の各面で持ち直しの動きが見られました。世界経済も同感染症の影響が緩和される中で持ち直しが続くことが期待されつつある状況にあります。しかしながら、新型コロナウイルスの新たな変異株の感染拡大リスク、資源価格や原材料価格の上昇、半導体供給面での制約、ロシア・ウクライナ情勢や中国での経済活動抑制の影響が残る中で、先行きは不透明な状況となっております。

当社製品の主要原料である銅の国内建値は、当第1四半期連結累計期間の銅国内建値平均価格は前年同期を上回る水準となりましたものの、期末にかけて下落しました。

この間において、インフラ向け電線の需要は前年同期を下回る水準で推移する一方で、機器用電線分野では一部向け先での需要回復が続きました。機能性フィルムの主要用途であるスマートフォンの販売量は中国の景況悪化・ロックダウン影響等により低迷し、素材需要は、製品販売の低迷に加え半導体その他の部材不足等の影響がありました。

こうした環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,732百万円（前年同期比3.2%増）と増収、営業利益は327百万円（前年同期比49.4%減）、経常利益は437百万円（前年同期比38.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は323百万円（前年同期比38.6%減）と減益となりました。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

<電線・ケーブル事業セグメント>

インフラ向け電線は銅価格高騰による買い控えの継続および原材料価格高騰による販売価格見直しに伴う競争激化により前年同期の販売量を下回り（前年同期比13.2%減）ました。一方で銅価格が上昇したこと、また機器用電線では一部向け先での需要回復が続いたこと等により、売上高は9,926百万円（前年同期比3.9%増）となりました。営業損益は販売価格見直し等によりマージン確保に努めましたものの、販売量の減少、原材料価格の高騰、販売価格見直しの浸透遅れおよび銅価変動影響等により166百万円の損失（前年同期は191百万円の利益）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムの需要は、主要用途であるスマートフォンの生産・販売量低迷および中国ロックダウン・半導体等の部材不足により減少（前年同期比2.3%減）し、売上高は4,228百万円（前年同期比0.5%減）となりました。営業利益は、コストの削減等に努めましたものの、減販および材料価格の上昇により642百万円（前年同期比1.0%減）となりました。

<その他事業セグメント>

センサー、医療機器部材、環境分析の各事業は、一部での需要回復が継続するとともに医療機器部材事業において昨年度末に上市した新規製品の業績貢献等もあり、売上高は582百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益は45百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ929百万円減少し、57,724百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ354百万円減少し、10,129百万円となりました。これは、未払費用および未払法人税等が減少したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ574百万円減少し、47,595百万円となりました。これは、繰延ヘッジ損益が減少したことおよび親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があったものの配当金の支払いにより利益剰余金が減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末に比べ0.4ポイント上昇し、82.5%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表した2023年3月期第2四半期(累計)および通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,389	1,327
受取手形及び売掛金	19,419	18,295
製品	3,957	4,123
仕掛品	6,127	6,575
原材料及び貯蔵品	1,869	2,281
短期貸付金	5,686	5,293
その他	1,235	692
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	39,671	38,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,305	8,406
機械装置及び運搬具（純額）	3,259	3,279
工具、器具及び備品（純額）	417	390
土地	3,721	3,721
建設仮勘定	522	461
有形固定資産合計	16,225	16,258
無形固定資産		
ソフトウェア	146	147
ソフトウェア仮勘定	9	13
施設利用権	5	5
その他	4	3
無形固定資産合計	165	169
投資その他の資産		
投資有価証券	1,082	1,307
長期前払費用	2	2
繰延税金資産	1,030	1,182
その他	659	407
貸倒引当金	△181	△178
投資その他の資産合計	2,591	2,720
固定資産合計	18,982	19,148
資産合計	58,654	57,724

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,883	4,111
未払金	815	701
未払費用	1,518	1,040
未払法人税等	456	125
その他	1,446	1,777
流動負債合計	8,121	7,755
固定負債		
長期借入金	900	900
退職給付に係る負債	1,302	1,280
資産除去債務	68	64
繰延税金負債	1	1
その他	91	127
固定負債合計	2,363	2,374
負債合計	10,484	10,129
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	38,936	38,703
自己株式	△2,458	△2,458
株主資本合計	47,670	47,437
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216	250
繰延ヘッジ損益	232	△161
為替換算調整勘定	△63	△49
退職給付に係る調整累計額	113	118
その他の包括利益累計額合計	499	157
純資産合計	48,169	47,595
負債純資産合計	58,654	57,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	14,276	14,732
売上原価	11,236	12,016
売上総利益	3,040	2,715
販売費及び一般管理費	2,391	2,387
営業利益	648	327
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	10	12
為替差益	40	80
その他	14	16
営業外収益合計	69	113
営業外費用		
支払利息	0	1
その他	0	2
営業外費用合計	1	3
経常利益	716	437
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産廃棄損	5	1
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益	713	436
法人税、住民税及び事業税	192	107
法人税等調整額	△5	5
法人税等合計	187	113
四半期純利益	526	323
親会社株主に帰属する四半期純利益	526	323

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	526	323
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	33
繰延ヘッジ損益	△186	△393
為替換算調整勘定	2	13
退職給付に係る調整額	16	4
その他の包括利益合計	△164	△341
四半期包括利益	361	△18
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361	△18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

原材料費及び加工費の原価差異については、流動資産に繰り延べております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,550	4,249	13,799	477	14,276	—	14,276
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	7	7	△7	—
計	9,550	4,249	13,799	485	14,284	△7	14,276
セグメント利益 又は損失(△)	191	649	840	△10	830	△181	648

- (注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△181百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△185百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,926	4,228	14,155	576	14,732	—	14,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	6	6	△6	—
計	9,926	4,228	14,155	582	14,738	△6	14,732
セグメント利益 又は損失(△)	△166	642	476	45	522	△194	327

- (注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額△194百万円は、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△197百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。